



第33回 市民芸能祭 箏と尺八の演奏（10月2日）

主な内容

- 小池市長の市政報告
中学生の武道合同授業を実施 …… 218
- 桂 三枝独演会 前売り券発売 …… 19
- 加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会 …… 20
- 歯の健康「子どものむし歯に歯止め①」… 23
- 加茂の風土記「明治前期の災害(2)」… 24

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

市政報告

加茂市長 小池 清彦

全国に先がけて、今年も中学生の
武道の合同授業が行われました。

中学生の武道の合同授業が十月一杯かけて、下
条体育センターで行われました。

これは、平成二十年三月の学習指導要領の改訂
により、中学校の保健体育科授業で平成二十四年
度から「武道」が一年生と二年生は必修となった
ことによるものであります。(三年生は、「武道」
か「球技」の選択となります。)

しかし、文部科学省のこの決定には、大きな

教育委員に有本賢一氏

十月三日、市議会九月定例会本会議に
おいて有本氏の加茂市教育委員会委員の
任命が同意されました。



有本賢一(小売業・本町・43歳)

国士舘大学政治経済学部卒
加茂市消防団第2分団第2部班長
加茂市商店街協同組合理事
加茂商工会議所青年部会長

問題があります。

まず第一に、文部科学省の新学習指導要領では、
「武道」の種目として「柔道」「剣道」「相撲」の
三つが例示されており、他の武道は、「その他」
とされておりまして、現代の多様化した武道界の
実情に合っておりません。

「相撲」は、女子には実施できませんし、土俵

のある学校はほとんどありませんから、「柔道」と「剣道」に偏重することになります。

しかし、「柔道」と「剣道」だけでは、中学生全員の好みと適性に合うわけではなく、生徒の安全性を確保することは難しくなります。

もう一つの問題点は、学校毎に「武道」の授業を行ったのでは、指導者を確保することが困難なことです。柔道をそれほどやったことのない体育の先生が柔道を教えることは、極めて危険です。「武道」などというものは、一流の師匠の指導を受けなければ、ものにならないものであります。ところが加茂市は、この点極めて好ましい状況にあります。

まず、「柔道」につきましては、一九六八年リスポンで行われた第二回世界学生柔道選手権大会で優勝された水信健先生（七段、加茂市体育協会会長）がおられます。

「空手道」は、日本のトップクラスの指導者で

あられる金谷國彦先生（和道流八段、県議）がおられます。

「剣道」は、教士七段の番場馨先生がおられます。

「合気道」につきましては、私が植芝守央道主先生にお会いしてお願いし、今年も、金澤威先生（本部道場師範七段）以下の方々を派遣していただきました。

私も「柳生新陰流剣道」と「穴澤流なぎなた」を受け持たせていただきました。私自身は未熟でございませぬが、日本歴史上最高の流派の流祖以来の技を全く変えずに、生徒さん達にお伝えしたつもりでございませぬので、御容赦いただきたいと存じます。

さて、そこで加茂市といたしましては、市と教育委員会と各中学校当局が相談して、できるだけ「武道」の種目を増やして、生徒の選択の幅を多くして、生徒さん達が好みと適性に合った武道を選べるようにし、このことが安全性確保にもつながるようにと考えました。

そして、授業者は、あくまでも体育の先生なのですが、先に申し上げたような方々を実技指導者として、生徒さん達に一カ所に集まってもらって授業を行うのがよいとの結論に達しました。(関係の体育の先生方は、市内全中学校に兼務の発令をいたしました。)

ここでまた一つ幸運がありました。私の前任の太田大三郎市長さんがお造りになった下条体育センターは、すばらしい武道館でもあったのです。これにより、加茂市の中学生全員をこの場所に集めて授業を行うことが可能となりました。

この「武道」の合同授業につきましては、「武道」が必修になるのは、平成二十四年度ですので、円滑に必修に移行するため、「武道」選択制は堅持しながら、昨年平成二十二年度から実施いたしました。今年で二年目になります。

しかし、現在はまだ「武道」は選択制ですので、ダンスも選択できますし、三年生は「球技」も選

択できることとし、これも「武道」と同時に合同授業を行いました。(ダンスは加茂中学校体育館、球技は勤労者体育センター及び葵中学校体育館) 「ダンス」と「球技」は、体育の先生が指導されて、「球技」は、今年もハンドボールの授業を行いました。

稽古着、竹刀、防具、その他の道具類は、すべて加茂市が購入し、貸与いたしました。

本年五月九日(月)に加茂文化会館大ホールで市内の全中学生に対し、実技指導者による演武会を行い、その後希望調査を行いました。その結果、市内中学生合同授業の参加者八百六人のうち六百十八人が「武道」を選択いたしました。

「武道」の授業時間数は、合計十二時間ですが、加茂市のスクールバスを動員して、それぞれの生徒さんに学年毎に、十月一杯で四回ずつ、下条体育センターに集まっていたいただきました。

「武道」の合同授業は、本年十月四日(火)に

始まり、十月二十七日（木）に滞りなく終了いたしました。

下条体育センターには、保健の先生が交替で待機されました。加茂地域消防署も、ひそかに救急車を待機させました。しかし、大きなけがもなく、無事終わりました。

生徒さん達も、楽しく過ごされたようにお見受けいたしました。楽しく安全にお過ごしいただくことが第一であります。

下条体育センターへの往復時間や稽古着に着替える時間を除きますと、正味合計八時間の授業でしたが、それぞれの実技指導者の方々は、担当の体育の先生と協力して、それぞれ安全で最も効果上がる授業を行われたとお見受けしております。

なお、「武道の授業」の具体的実施要領は、次のとおりでございます。

「武道の授業」の具体的実施要領

- 1 実施日時 別紙1のとおり
平成23年10月4日(火)から10月27日(木)までの毎週火曜日
(1年生)、水曜日(2年生)及び木曜日(3年生)
午前10時から12時まで(この前後がスクールバスでの輸送と
稽古着に着替える時間となり、いわゆる3時間の授業となります。)

- 2 実施場所
下条体育センター(加茂市中村6番14号 TEL 0256-52-0275)
1階:柔道、合気道、柳生新陰流剣道、穴澤流なぎなた
2階:剣道、空手道

- 3 中学校「武道等」希望調査集計表
別紙2のとおり

- 4 武道等「選択制授業」担当教員一覧
別紙3のとおり

- 5 加茂市中学校保健体育科「武道」の実技指導者
別紙4のとおり

「武道」、「ダンス」、「球技（3年生のみ）」の授業の実施日時

月 日	学 年	実施時間
10月 4日 (火)	1 学年	午前10時～12時
5日 (水)	2 学年	
6日 (木)	3 学年	
10月11日 (火)	1 学年	
12日 (水)	2 学年	
13日 (木)	3 学年	
10月18日 (火)	1 学年	
19日 (水)	2 学年	
20日 (木)	3 学年	
10月25日 (火)	1 学年	
26日 (水)	2 学年	
27日 (木)	3 学年	

中学校「武道等」希望調査集計表

平成23年9月28日現在

区分	1年生			2年生			3年生			全学年合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
柔道	17	5	22	29	8	37	25	0	25	71	13	84
剣道	19	8	27	9	1	10	2	3	5	30	12	42
合気道	43	54	97	43	41	84	6	13	19	92	108	200
空手道	19	46	65	26	27	53	11	46	57	56	119	175
なぎなた	18	3	21	8	20	28	2	20	22	28	43	71
柳生新陰流剣道	16	1	17	14	2	16	13	0	13	43	3	46
武道合計	132	117	249	129	99	228	59	82	141	320	298	618
ダンス	0	19	19	0	22	22	0	26	26	0	67	67
球技							95	26	121	95	26	121
ダンス・球技合計	0	19	19	0	22	22	95	52	147	95	93	188
総合計	132	136	268	129	121	250	154	134	288	415	391	806

備考：3年生のみ球技も選択できる。

武道等「選択制授業」担当教員一覧

種 目	学 校	担当教員
柔道	葵 中 七谷中	渡邊 倫幸（1・2年生） 江川 和広（3年生）
剣道	葵 中 須田中	福岡 浩則（1・2年生） 小林 豊（3年生）
合気道	加茂中	加藤 幸孝
空手道	須田中	小林 豊
なぎなた	若宮中 七谷中	今井 利彦（1・2年生） 江川 和広（3年生）
柳生新陰流剣道	七谷中	江川 和広
ダンス	加茂中	本間 結衣
球技（ハンドボール）	葵 中 葵 中 若宮中	福岡 浩則（3年生） 渡邊 倫幸（3年生） 今井 利彦（3年生）

備考：各教員は、市内全中学校の教員を兼務している。

加茂市中学校保健体育科「武道」の実技指導者

科 目	実 技 指 導 者 (授業者は各学校の教員)
柔 道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水信 健 氏 1968 年第 2 回世界学生柔道選手権大会（リスボン）の優勝者 柔道七段 加茂市体育協会会長 ○ 高山 誠太 氏 柔道四段 元専修大学柔道部主将 国体出場 加茂地域消防署職員
剣 道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 番場 馨 氏 剣道練成道場浩明館館長 剣道七段教士 元加茂剣道会理事長 ○ 川崎 哲夫 氏 剣道五段 前加茂剣道会会長
合 気 道	<p style="text-align: center;">植芝守央道主が派遣される指導者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 金沢 威 氏 本部道場指導部師範 合気道七段 ○ 鈴木 俊雄 氏 本部道場指導部指導員 合気道四段 ○ 日野 皓正 氏 本部道場指導部指導員 合気道四段

科 目	実 技 指 導 者 (授業者は各学校の教員)
空 手 道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金谷 國彦 氏 空手道八段 新潟県議会議員 日本歯科大学新潟生命歯学部空手道部師範 加茂空手道クラブ師範 新潟県空手道連盟相談役 和道流空手道連盟常任顧問 ○ 助川 茂 氏 空手道四段 加茂空手道クラブ師範 加茂少年スポーツ空手クラブ師範 新潟県空手道連盟公認審判員 ○ 西村 修市 氏 空手道三段 加茂空手道クラブ須田支部師範 新潟市南区少年スポーツ空手クラブ師範 新潟県空手道連盟公認審判員
なぎなた	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小池 清彦 氏 柳生新陰流剣道、小野派一刀流剣道、二天一流剣道、林崎流居合、管流槍術、 穴澤流薙刀術免許皆伝 太極拳、形意拳、八卦掌師範 日本武芸・中国拳法道場興道館館長 加茂市教養講座で指導 加茂市長
柳生新陰流 剣道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志田 健太郎 氏 上記武道の助教 須田中学校職員 ○ 伊庭 美幸 氏 上記武道の助教 加茂市役所職員

「柔道」



水信 健 七段 (世界学生柔道船主県大会優勝者)



高山 誠太 四段



「剣道」



馬場 馨 教士 (七段)



川崎 哲夫 五段



「合気道」



金澤 威 本部道場師範 (七段) と 日野 皓正 本部道場指導員 (四段)



鈴木 俊雄 本部道場指導員 (四段)



「空手道」



金谷 國彦 八段

助川 茂 四段 と 西村 修市 三段



「柳生新陰流剣道」



小池 清彦 師範



志田 健太郎 助教



伊庭 美幸 助教

「穴澤流なぎなた」



小池 清彦 師範



志田 健太郎 助教



伊庭 美幸 助教



「ダンス」



「ハンドボール」



加茂文化会館 催しのお知らせ

桂 三 枝

独演会



平成24年 **2月17日(金)** 開場 18:00
開演 18:30

入場料金／全席指定 前売券 3,500円(当日 4,000円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

テレビや舞台で活躍する桂三枝さん。上方落語協会会長で落語を現代風にアレンジした「創作落語」を多数生みだすなど活動されています。来年7月には、上方落語の大名跡「六代桂文枝」を襲名する予定です。三枝さんの落語をお楽しみください。

プレイガイド ミュージックショップ・アベ(駅前) ☎52-1999

小池めがね(本町) ☎52-2321 市民サービスセンター(上町) ☎53-1180

主催・会場 加茂文化会館 ☎53-0842 協力：よしもとクリエイティブ・エージェンシー



第30回市民カラオケ大会 第6回加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会



審査委員長の山岸之起先生



カラオケ大会優勝の深井智司さん



加茂川ブルース優勝の岡部福松さん(左)
と加茂川慕情優勝の山崎千恵子さん(右)



十月十日、文化会館で市民カラオケ大会と加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会が行われ、市民カラオケ大会には三十五名、加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会には二十人が出場しました。

審査委員長には、山岸之起先生から務めていただき、昨年度優勝された方々からも審査員をお願いし、出場者一人ひとりの歌声や振り付けなどで各賞が決まりました。

結果発表のとき、山岸先生から「普段と違って、まぶしいライトや大勢の観客の前なので、歌詞を間違えた方がいらっしやいました。惜しいことです」と講評がありました。

市民カラオケ大会で準優勝となったのは新潟経営大学学生の樋渡大輝さん、優勝は昨年の大会で準優勝だった深井智司さんが見事に優勝の栄冠に輝きました。

第30回市民カラオケ大会

- 優勝 深井智司 (学校町) 「Nobody is Perfect」
- 準優勝 樋渡大輝 (新潟経営大学) 「OH MY LITTLE GIRL」
- 敢闘賞 馬場賢一 (新栄町) 「ヨイトマケの唄」
- 市長特別賞 大平すみ子 (栄町) 「ショパンの雨音」
- 審査委員長特別賞 相田 勉 (希望ヶ丘)
「男が抱えた寂しさ」
- 館長特別賞 大湊芳子 (旭町) 「忘却の雨」

加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会

- 【加茂川ブルース部門】
 - 優勝 岡部福松 (長岡市)
 - 準優勝 吉田昌一 (新潟市西蒲区)
 - 敢闘賞 木村敏一 (三条市)
 - 【加茂川慕情部門】
 - 優勝 山崎千恵子 (新潟市西蒲区)
 - 準優勝 小比鬼登志子 (見附市)
 - 敢闘賞 番場ヨシイ (桜沢)
- (敬称略)

総体結果



剣道

期日 十月九日
会場 下条体育センター

【個人戦】

▼小学校4年生以下の部①塩原拓磨(下条剣士会)②涌井雄大(下条剣士会)③王兆龍(加茂剣士会)
▼小学校5・6年生の部①高橋聡希(下条剣士会)②時田遼馬(下条剣士会)③港淳史(加茂剣士会)
▼中学生女子の部①渡辺彩葉(つつじヶ丘剣道教室)②林美琴(つつじヶ丘剣道教室)▼高校・一般の部①増井龍太郎(下条剣士会)②越野誠(加茂剣道会)③増井和彦(加茂剣道会)、大久保勝昭(加茂剣道会)

【団体戦】

▼高校・一般の部①加茂剣道会E②加茂剣道会A③加茂剣道会C、加茂剣道会D



空手道

期日 十月九日
会場 勤労者体育センター

【形】

▼小学生低学年男子①伊丹陸(加茂小)②渡部翔矢(加茂南小)③山岸祐翔(石川小)、志田倭(加茂南小)
▼小学生高学年男子①石附竜馬(加茂小)②伊丹駿(加茂小)③平林丈宜(石川小)、安中佑太(石川小)
▼小学生高学年女子①山岸実加(石川小)②渡部幸子(加茂南小)③笠原詩歩(七谷小)、船久保穂香(加茂小)
▼中学生男子①高橋星輝(加茂中)②平林士宜(加茂中)③岡隆文(加茂中)

【組手】

▼小学生低学年男子①渡部翔矢②山岸祐翔③安中大和(石川小)、大野青空(加茂小)
▼小学生高学年男子①伊丹駿②石附竜馬③安中佑太、宮口拡(石川小)
▼小学生高学年女子①渡部幸②船久保穂香③笠原詩歩、山岸実加
▼中学生男子①高橋星輝②平林士宜③岡隆文



柔道

期日 十月十日
会場 下条体育センター

【個人戦】

▼小学校2年生の部①新井智之(加茂小)②三村花佳(加茂小)
▼小学校4年生の部①青柳朱敏(下条小)②有本翔真(石川小)
▼小学校5年生の部①三村鴻太(加茂小)②原竜弥(石川小)③横山拓巳(加茂小)
▼小学校6年生(一)の部①有本友也(加茂小)②横山哲太(加茂小)
▼小学校6年生(二)の部①新井恒稀(加茂小)②深澤卓幹(加茂小)③中林成希(加茂小)
▼中学生の部①近藤直人(加茂中)②松田彬(葵中)③原舞美(加茂中)
▼高校・一般の部①高山誠太(加茂柔道会)②高山大祐(加茂柔道会)③河田陽介(加茂柔道会)



グラウンドゴルフ

期日 十月十日
会場 若宮公園特設コース

【個人の部】

▼男子①皆川光雄(陣ヶ峰A)②



卓球

期日 十月十六日
会場 下条体育センター

【団体戦】

①陣ヶ峰C②陣ヶ峰A③岡ノ町C

【個人戦】

▼中学生男子①神保雄介(加茂中)②野村雄大(葵中)③竹内涼(加茂中)、岡隆文(加茂中)
▼中学生女子①竹石望未(若宮中)②飯岡春奈(若宮中)
▼一般高校男子①長沢真(加茂卓球クラブ)②小林友雄(卓球同好会)③小山大貴(加茂暁星高)、細野修司(加茂卓球クラブ)

【団体戦】

▼中学生男子①加茂中A②須田中B③葵中A、葵中B
▼一般高校男子①加茂卓球クラブA②加茂卓球同好会A③加茂卓球クラブB、加茂農林高A



ゲートボール

期日 十月二十三日
会場 すばしく加茂

①七谷D②ゆきつばき③七谷

カメラ スケッチ



第33回市民芸能祭（10月2日）

伝統芸能や古典芸能を受け継いでいる皆さんが一堂に集まり披露する文化会館の市民芸能祭。御神楽や能が上演される中、箏曲と詩吟で子どもたちや高校生の演奏があり、若い世代にも引き継がれているようすを見ることができました。



第64回県縦断駅伝・加茂中継所（10月16日）

今年から第四銀行加茂支店前が中継地点となりました。加茂・田上チームは、1日目19位、2日目・総合17位と健闘しました。コースの国道403号線沿線には、中継地点の選手たちに大きな声援が送られていました。



第5回福祉フェスティバル（10月15日）

市内で活動する福祉支援グループなどが活動内容を紹介したり、新しい福祉器具の展示がありました。オープニングに保育園児たちの元気なよさこいや、盲導犬の活動紹介がありました。

カメラ・スケッチ

健康ウォーク (10月30日)

前週が雨で延期になり、七月の豪雨の影響で、猿毛山のコースも災害復旧により利用できませんでした。それでも八・五kmの健脚コースには大勢の皆さんがゴールの冬鳥越スキーガーデンで完歩証をもらってきもちのいい汗を流していました。



子どものむし歯に

歯止め①

■子どもの歯を守るのは、

保護者の仕上げ磨きです

子どものお口の中は、歯が生え始めてから十年くらいは、実にさまざまに変化します。特に乳歯から永久歯への生え変わり期は、むし歯になりやすい時期でもあります。小さな子どもは、うまく歯磨きできません。

ですから、お子さんの歯を守るためにも、保護者の方の仕上げ磨きが必要です。

■仕上げ磨きは、なぜ必要？

ところで、歯を磨くということとは、どういうことかご存知ですか？

歯磨きとは、むし歯の原因となるプラーク（歯垢）を取り除くということです。プラークを除去できなければ、磨いたことにはなりませんし、むし歯を防ぐこともで

きません。

ところがプラークは、奥歯の溝や、歯と歯の間、歯と歯ぐきの境目など、磨き残しやすいところにこびり付いているのです。こうしたプラークを確実に取り除くためにも、保護者の方の仕上げ磨きが欠かせません。

■0歳から1歳の歯のケア

歯が生えてきたら、歯磨きのスタートです。個人差はありますが、七〜八か月くらいで歯が生えてきます。最初のうちは、離乳食の後などに毛先の軟らかい仕上げ磨き用歯ブラシで歯の汚れを落とします。

一歳ころになったら、保護者の方が、仕上げ磨きをしてあげてください。お子さんの頭をひざの上に乗せて、寝かせた形で磨きます。その際、お子さんが嫌がらないように、楽しく声をかけながら磨くのがコツです。

■1歳から3歳の歯のケア

三歳前後になると、二十本の乳歯が全部生え揃います。生えたての歯は歯質が弱いので、むし歯になりやすい状態が続きます。特に奥歯の噛み合わせ面は、プラーク



鏡を見ながら磨く。どの仕上げ磨きの方法も、保護者の方が、お子さんの後ろに位置します。こうすると、お子さんの歯を自分の歯のようにとらえることができます。



寝かせて磨く お子さんの頭をひざの上（お腹）に乗せる。

がたまりやすい場所ですから、細かく磨いてあげましょう。

仕上げ磨きの体勢は寝かせ磨きが基本です。頭の上から磨くことで、奥歯や歯の裏が磨きやすくなり、汚れを残さず磨くことができます。

(加茂市歯科医師会)

明治十四年加茂新田洪水

明治前期の災害(2)

信濃川右岸の加茂新田地区は加茂川・下条川の下流部でもあり、加茂郷の湛水が最後まで引かない場所だった。「お明神さまの春祭り（青海神社の五月二十一日の春季大祭）の大太鼓が鳴ると春水が引く」といい、それから漸く田仕事が始まった。明治十七年（一八八四）には、七月十日を過ぎても雪解け期からの湛水が引かず、四割の田が田植え出来ないでいると新聞が報じている。

翌十八年六月は洪水で堤防が決壊して、「一望湖海、人家は床上浸水で近隣との行き来も船なしではできず、過半の人が食料も尽き、堤防の青草を食べている」惨状となった。洪水後は一転して日照りに苦しめられた。「新潟新聞」八月十三日付は次のように報じている。

加茂新田（二百六戸）の百戸以上が公的救助を受け、漸く水の引いた畑に粟（米の代用食）・小豆・大根を植えたが、こんど



加茂新田・住寺堀の湛水光景
「加茂市史・上巻六一八ページ」（昭和五十年発行）より

は日照り続きとなり、ことごとく枯れてしまった。田には稗を植えたがこれも水がなく三割程度しか作付けできていない。同村始め、天神林・山島新田の窮乏民は、田貝・タニシ・ドジョウなどを捕まえて乾燥させ、小雑魚や貝類で食べつないでいる極度の窮民は、加茂新田六十余戸、天神林三十余戸、山島新田二十余戸である。惨状は実に名状すべからず所なり、と。

この八月、上記三か村と役場を共にする間柄の下条村も加わった四か村は、①冠婚葬祭の席でも冷酒と一汁一菜とする、②タバコをやめられない者は桑の葉などを混ぜる、③草の根や樹皮も乾燥させて保存し冬の食料とする、などの厳しい儉約を申し合わせた。

このように劣悪な排水事情の加茂新田が豊作になることは滅多になく、いつしか「おおでき加茂新田」の言葉が生まれた。加茂新田の人かどうかに関わりなく、予想外の上首尾・好結果となった場合に使ったのである。

（溝口敏磨）

市民芸能祭

能楽 舞稚子「紅葉狩」の舞台



人口のうごき

10月1日現在
世帯 10,196 (+ 2)
人口 30,367 (- 9)
男 14,661 (- 7)
女 15,706 (- 2)
()内は前月比
(9月異動分)
出生 20 (男10 女10)
死亡 26 (男15 女11)
転出 33 転入 30